



平成 29 年度
～ 7 月号～

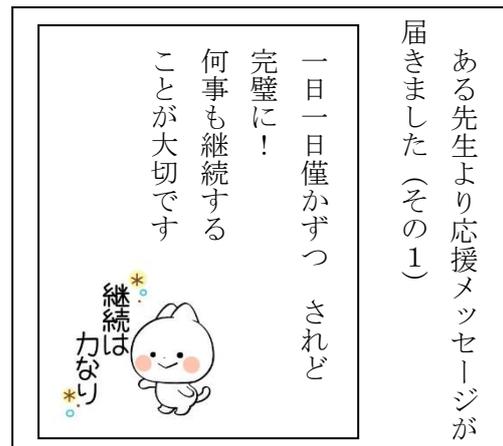
◆ 求人解禁 鹿児島県では製造業求人増加 ◆

7月1日は、平成30年3月高校卒業予定者向けの求人公開解禁日でした。特に就職希望の生徒は、順次送られてくる求人票に早めに目を通し、就職先を意識して行動してください。

先日行われた三学年対象の面接練習では、より実践に近い形で模擬面接を行い、先生方より指導・助言をいただきました。面接状況については、成果が芳しくない生徒が目立つ一方、発言内容を担任に何度もチェックを入れてもらうなどして自主的に練習を重ねた成果を披露できた生徒もいました。

忘れないでほしいことは、この面接練習は「しっかり行えること」が目標ではなく、「**努力した成果を発揮するには日頃どのようなパフォーマンスが必要かを知ること**」です。試験当日は誰も緊張するもの。普段とは異なる空気感や自身の状態の中で、いかに最大限のパフォーマンスを披露できるかが当日の最大の課題となります。練習のための練習ではなく、**本番を常に想定した練習を行ってください。**

本校の生徒は、進学する生徒も推薦入試で受験する者が多く、就職試験でも面接が実施される場合が殆どであるため、一学期の面接指導は三学年全員を対象に実施しています。特に就職試験に向けての校内選考まであと数日。試験直前に慌てることがないようにしっかりと準備をしていきましょう。



◆ 夏季休業の過ごし方 ◆

進学校の場合、いわゆる夏休みを「受験の天王山」と表現します。良く用いられる言葉なので、「天王山」が日本のどこにあるかを調べてみてください。



大学進学の場合、1月に行われる大学入試センター試験を見据えた夏休みの過ごし方が最重要視されています。1月と言えばまだ約5ヶ月あります。言い換えると、**将来を決めるまでに5ヶ月は最低限確保しなければならない**、ということになります。

本校では将来を決める時期が大幅に早く、就職希望者を例にとると9月には就職試験が始まります。その5ヶ月前ということは、3年に進級したての頃。思い返せば、3年生は3年になった途端、先生方に「早く進路を決め

なさい」と言われてきたはず。本日までの時間がいかに重要であったかが少しずつわかってくるはずですが、**もう時間は戻りません。前に進むしかありません。**

2年生は将来を決めねばならない時期が間もなくやってきます。この夏休みは情報収集の時期。将来の自分が楽をするため、今は時間を使って学校や会社の情報を入手してください。**調べた数だけ将来の道が生まれてきます。**

一年生は気がつけば高校生活の1/9が終わりました。**やれそうなことはこの時期に全て体験しておきましょう。**オープンキャンパスは3年のためだけにあるわけではありません。教室や廊下に掲示してある予定表を確認し、積極的に参加しましょう。

◆ 自分を知る とは ◆

経営学者のピーター・ドラッカーは、設定目標への到達方法について「できないことではなく、できることに注目せよ」と述べています。簡潔に言うと「**自分の強みに注目せよ**」ということです。

人間、誰しも「強み」と「弱み」があります（自覚があるかは別の話です）。人がさらなる成長を目指す場合、どちらに着目すべきだと思いますか？私も用いますが、「弱点を克服しよう。」というように、自分の強みよりも弱みに着目しがちです。しかし、例え弱みを克服して人並みにできるようになったからといって、その人並みが何かを実現させる武器になるのでしょうか？可能性としては低いと思います。

人が当たり前のように持っている「弱点を克服したい。」という思いを、ドラッカーは努力の方向性のあり方を次の言葉で表現しています。「**何事かを成し遂げられるのは、強みによってである。弱みによって何かを行うことはできない。もちろん、できないことによって何かを行うことなど、とうていできない。**」

では、そのためにどうするか。まずは「**できること**」を書き出してみましょ。テーマは何でも構いません。勉強・部活動・受験勉強など、身近な話題がわかりやすいと思います。書いたら、自分の強みを発揮できる分野で戦える準備を行わなければなりません。大体3項目を柱に考えていけば良いと思います。

- ① 集中すべきことは何か
- ② 改善すべきことは何か
- ③ 勉強しなければならないことは何か

特にこの②において、自分の強みを発揮するために弱みを改善する必要がある場合があるかもしれません。**強みに注目していることで弱点の克服が意味を持つようになります。**いずれにせよ、自分の強みに注目し、その点を中心に考えていくことで今後の展開が計画できるということ。逆に言えば、強みを発揮できる環境を考えることで自分の方向性が見えてくる可能性が高いということになります。

さて、あなたの「強み」はどんなものがあり、それを**将来にどうつなげますか？**

